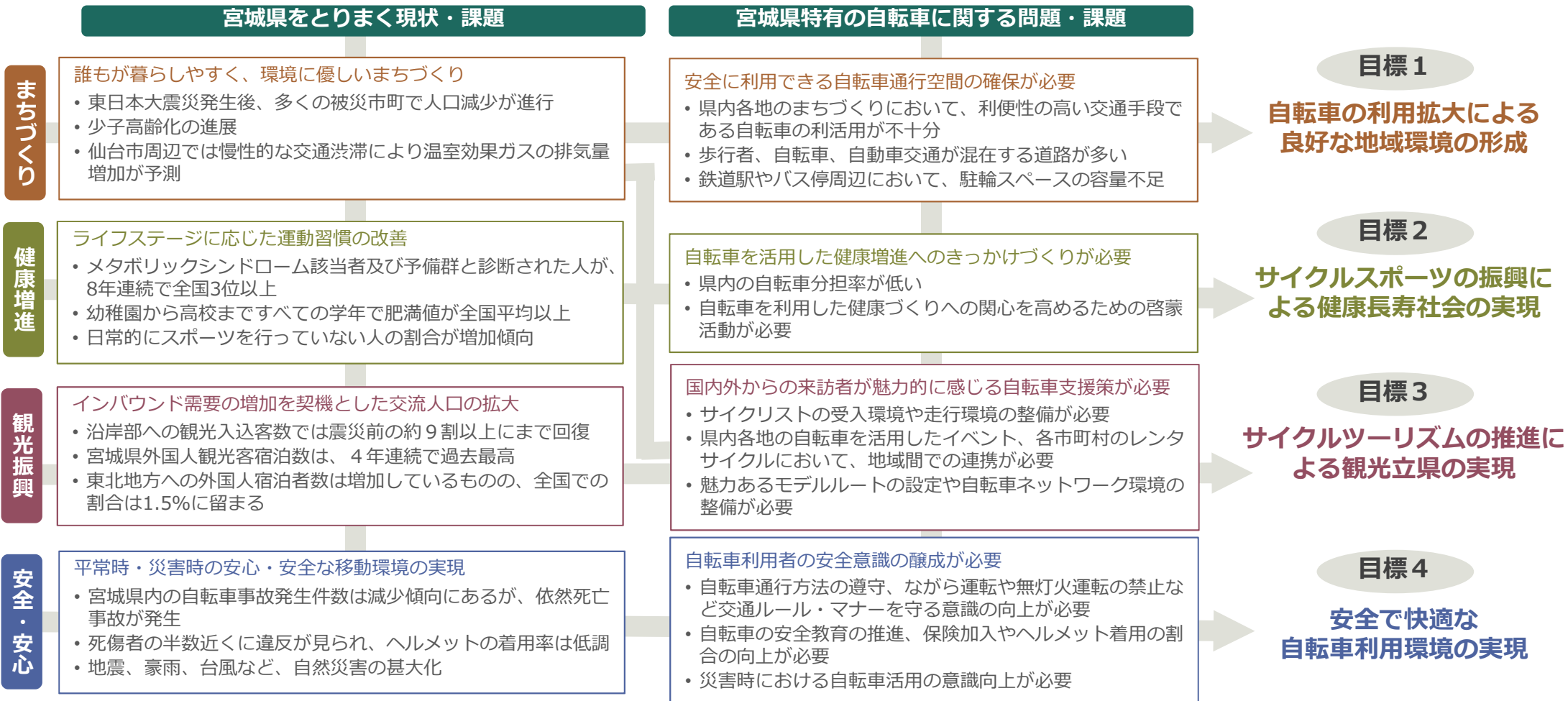


基本事項

目的	自転車活用推進法の施行（2017.5）、自転車活用推進計画（国）の閣議決定（2018.6）を受け、宮城県の実情に応じた自転車の活用推進に関する施策の方向性を定めるものです。	区域	宮城県全域とします。	期間	次期総合計画との整合性を勘案し、2020～2030年度（11年間）とします。概ね5年後の中間時点でフォローアップを実施します。
-----------	--	-----------	------------	-----------	---

宮城県版自転車活用推進計画（素案）

将来の宮城県のあるべき姿や目標について、自転車の活用により実現する将来像を、自転車の特性に応じて4つの分野に整理しました。この将来像の実現に向けて、宮城県特有の自転車に関する問題・課題に対し、講ずべき施策目標を以下の通り設定します。



※問題・課題については今後の意向調査（県民へのWEBアンケート調査）で実態・ニーズを検証

主な施策

目標 1：自転車の利用拡大による良好な地域環境の形成

- 地域の実情に合わせた自転車走行空間の整備
- 地域のニーズに応じた鉄道駅等における駐輪場の整備促進
- シェアサイクル・レンタサイクルの普及促進に向けた広報の支援



▲一般県道仙台亘理自転車道線



▲シェアサイクルの利用状況（仙台市）

目標 2：サイクリングスポーツの振興による健康長寿社会の実現

- 子供から高齢者を対象とした健康増進につながる啓蒙活動やイベントなどの実施
- 自転車通勤や企業における業務利用拡大などの広報啓発
- 自転車道やスポーツ施設などの効果的な活用



▲自転車競技の体験イベント
出典) みやぎ「夢・復興」ジュニア
スポーツパワーアップ事業HP



▲川崎町サイクリングガイド
出典) 川崎町観光ポータルサイト

目標 3：サイクルツーリズムの推進による観光立県の実現

- (仮)震災復興・伝承みやぎルートなどのモデルルートを基軸とした魅力ある自転車ネットワーク環境の整備
- 空港や道の駅等の主要な交通拠点における受入サービスの充実化
- 国際的なサイクリング大会の誘致、開催支援



▲「ツール・ド・東北」開催状況



▲自転車専用ロッカー（仙台空港）

目標 4：安全で快適な自転車利用環境の実現

- 交通安全の意識向上を図るための広報啓発や、交通安全教室の開催
- 賠償責任保険への加入の促進
- 災害時における正しい自転車活用方針の検討



▲仙台市自転車マナーアップキャンペーン



▲条例周知用チラシ 出典) 仙台市HP

宮城県の自転車ネットワークの考え方（案）

基本方針

- 市町村を跨ぐ日常移動の支援
- 国内外に発信できる、日本を代表するサイクルルートの設定
- 隣接県や複数市町村を跨ぐ県民が楽しめるサイクリングの推進
- 安全で快適に利用できる自転車ネットワークの構築

広域のサイクリングを
対象としたネットワーク

市町村を跨ぐ日常移動を
対象としたネットワーク

選定の考え方

広域のサイクリングを対象としたネットワークでは、県民や、国内外からの来訪者の観光における自転車利用の促進や利便性向上を図るため、以下の考え方でネットワークを選定する。

- 空港・新幹線駅などの主要な交通結節点と観光拠点の連携
- 広く普及しているサイクリングルートとの連携
- 隣接県との交流促進への期待

市町村を跨ぐ日常利用を対象としたネットワークでは、主に通勤・通学など移動距離の長い日常移動需要が多い路線について、走行の快適性及び安全性の向上を図る。また、地域ごとに策定される市町村の自転車ネットワーク計画について、幹線道路によりそれぞれのネットワークを繋ぎ、広域的な連携を図る。

- 自転車による通勤・通学流動が多い市町村間を結ぶ路線
- 自転車ネットワーク計画を策定済みの市町村間を結ぶ路線

考え方の素案



項目	令和元年	令和2年		
	12月	1月	2月	3月
webアンケート調査	—————			
施策の検討	—————			
指標の検討	—————			
「宮城県版自転車活用推進計画」(案)のとりまとめ	—————			
パブリックコメントの実施			—————	
「宮城県版自転車活用推進計画」の策定				—————

第2回宮城サイクルツーリズム推進協議会

第3回宮城サイクルツーリズム推進協議会(予定)